

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年 4月 1日 ~ 令和3年 3月31日
3. 業務の範囲	(1)根本交流センターの施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)根本交流センターの使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業及び児童センター事業の実施に関すること。

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間 /日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		105%未満～95% 4点	年次報告書P428,429(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H30度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 小ホール:66.9%(平均値比105.5% =66.9%÷63.4%) 会議室1:34.4%(平均値比99.7% =34.4%÷34.5%) 会議室2:44.7%(平均値比94.7% =44.7%÷47.2%) 和室:29.1%(平均値比96.7% =29.1%÷30.1%) 実習室:23.6%(平均値比94.8% =23.6%÷24.9%)		4点	
		平均値比(99%)=利用率(39.7%)÷40.0%(上記(1)適用)		公民館 4点 児童館 該当なし							
	(2)市・町の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 ※平成29年度選挙時の増加分は、特殊事情として比較対象から除く。		95%未満～85% 3点	【公民館】 年次報告書P428,429(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H30度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:19,024人(平均値比93.8% =19,024人÷20,290人) 小ホール:17,785人(平均値比100.6% =17,785人÷17,687人) 会議室1:6,440人(平均値比84.3% =6,440÷7,640人) 会議室2:6,099人(平均値比96.2% =6,099人÷6,342人) 和室:2,417人(平均値比71.8% =2,417人÷3,365人) 実習室:3,259人(平均値比104.6% =3,259人÷3,116人) 【児童館】 【30年度】 28,089人、【29年度】 30,328人 【28年度】 31,167人 (平均値比91%≒28,089÷(30,328人+31,167人)) 公民館 3点 児童館 3点 ※ 点数の比率は(児童館:公民館＝1:1)とする。 総合点3点		3点	
		【公民館】 94%利用人数(延べ55,024人)÷58,438人(上記(2)適用) 【児童館】 91%利用人数(延べ28,089人)÷30,747人(上記(2)適用)		【公民館】 年次報告書P430～445(文化事業一覧) ①公民館まつり ・第6回根本ふれあいフェスティバル 1,588人 ・根本交流センターまつり スマイルステージ 670人 ②地域意識醸成事業 ・三ツ星ファミリー事業【みんなで田植え、みんなでいも苗植え、など】(根本校区青少年まちづくり市民会議との共催) 6回 1,034人 ・根本フォーラム パネルディスカッション 他3回 143人(ねもと地域力共催) ほか 【児童館】 1. 乳幼児と保護者を対象とした事業:42回、1,757人 2. 児童を対象とした事業:74回、741人 3. 地域交流・多世代間交流:3回、1,629人 4. 中高生事業:4回、45人 5. 子育て相談と子育てネットワークづくりの推進:51回、736人		仕様書以上 14点		【公民館】 ・公民館まつりは、児童センターとの複合施設であるため、多世代が、出演者やスタッフとして参加できている。 ・三ツ星ファミリー事業では、地域の方の協力のもと、あそびを通して多世代交流を行うことができた。 ・初の試みとして、小学生も参加できるパネルディスカッションを行い、子どもたちの郷土愛や地域力活性の場を作ることができた。 【児童館】 ・仕様に定めた事業について、忠実に実施しつつ、ニーズに応じた対応をしている。(小学生卓球クラブの開講等) ・児童センターまつりは地域が一体となり多世代交流ができるなど、複合施設の利点が児童センターにも活かされている。 公民館 14点 児童館 14点 ※ 点数の比率は(公民館:児童館＝1:1)とする。 総合点 14点			
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	【公民館】 ※年次報告書P430～445(文化事業一覧) ・ねもとあったかクリスマス会 120人 ・「みんなでピンポン」25回 267人ほか ・ふれあい保育体験(NPO法人ぎふ多胎ネット共催) ・プレジャールームへ行こう!「体を動かす遊びのコーナー」など中学生ボランティアが運営 6回 308人 ・みんなの時間(ハザードマップを活用した町づくり等) 101人 ・小学生・中学生のボランティア ねもとボランティア☆キッズ、ねもとプレジャー★スター 【児童館】 1. 乳幼児と保護者を対象とした事業:90回、2,372人 2. 児童を対象とした事業:66回、1,097人 3. 地域交流・多世代間交流:61回、3,351人 4. 中高生事業:45回、225人 5. 子育て相談と子育てネットワークづくりの推進:20回、352人			期待以上 14点	【公民館】 ・地域の特徴を活かして、多世代での交流を深めることができた。 ・ふれあい保育体験では、中学生に貴重な体験を提供することができた。 ・中学生のボランティアスタッフの活躍の場を多く作ることができた。 ・防災をテーマに災害時のトイレ問題やハザードマップの活用方法を学びながら、地域内の連携や多世代交流を行うことができた。また、他地域にも広がりをみせ、さらなる効果が得られた。 【児童館】 ・29年度からは単に回数・人数を増やすことを目指すのではなくニーズ・シーズを絞ることも念頭に置いて事業を行っている。結果大幅に参加者数が増減することもあるが、自由来館者優先の姿勢は理解できる。 公民館 14点 児童館 13点 ※ 点数の比率は(公民館:児童館＝1:1)とする。 総合点 13.5点		14点	

2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	年次報告書P447(維持管理業務) 施設内清掃(基準:毎日)を実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			年次報告書P447(維持管理業務) ・消防設備保守点検(基準:年2回)・・・年2回実施 ・空調機器設備保守点検(基準:年4回)・・・年4回実施 ・エレベーター設備保守点検(基準:年12回)・・・年12回実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			機械警備業務を委託して実施(毎日)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			年次報告書P447(有償修理の内訳) 有償修理 全6件 総額 200,144円	適正(普通) 2点	適正に実施されている	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・定期点検の実施 ・専門家による定期点検、臨時点検の実施 ・利用者の声より	適正(普通) 2点	適正に実施されている	
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・ファイリングシステムに沿って、文書に応じた適正な保存、保管。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	12点	
		②環境への配慮			・職員による草ぬき、業者による選定・消毒など計画的に緑化管理を行った。 ・小学生のボランティア隊とともに、ゴーヤで緑のカーテンを作り、成長を楽しむとともに夏場の節電対策につなげた。 ・ペーパーレスで図書業務の効率化	期待以上 3点	期待以上に実施されている。 ・ペーパーレスで図書業務の効率化を行った。		
		③バリアフリー			・利用者に対して公平性を重んじ、共通のルールのもと対応を行った。 ・障がいのある方も事業に参加しやすい環境を作った。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④備品管理			・破損を放置しないようこまめにチェックを行い、不備を発見した際には速やかに対応。 ・利用者全体に協力いただいて、備品を大切に扱うこと、もしも破損があった場合は速やかに報告いただく関係性を大切にした。	期待以上 3点	・期待以上に実施されている。 ・乳幼児室専任アドバイザーから意見を聴き、備品等の管理に務めている。		
		⑤個人情報保護			・広報、フェイスブック等の写真掲載については講座申込み時に承諾をいただいた。 ・個人情報を含む書類等の扱いに注意を払いキャビネット内で保管し、処分はシュレッダーでの裁断をし、三の倉処理センターへ持ち込み処理を行った。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	1)ロビーで走り遊んでいたところ、小ホールの段差の角に顎をぶつけ、2cmほど切った。 →応急処置を行ったが、病院への受診を勧めた。その後、病院へ向かい縫合処置を受けた。保険適応。 2)ダンスクラブ終了間際の挨拶時に友だちと接触し転倒する。その後左肘が痛いと訴える。特に腫れもなく患部の冷却処置をし、様子をみていただく。 →タ方整形外科を受診し、レントゲン撮影をしたところ、左肘にひびが入っていることが判明。念のため市民病院へ行きCTを撮り、手術の必要はないと診断を受けた。ギプス固定。 全治1ヶ月半。保険適応。 3)ドッジボール中、前から転倒し、上部歯茎と下唇から出血。止血したが、歯茎の痛みと歯のぐらつきあり。 →応急処置を行った後、病院へ。歯のぐらつきは以前からあるもので問題なしとの診断を受けた。保険適応。 4)「みんなでピンポン」に参加中、体勢を崩し、左手を下敷きに転倒した。肩から左手首まで痛みが広がり、腫れあがってきたため、救急搬送をした。 →県病院にて左手首と左肩の手術を行い、2日間入院し、全治半年との診断を受ける。保険適応。 5)ふれあいボランティア「幼児水あそび」の活動中(屋外)に、軽度の熱中症症状(頭痛、吐き気)を訴えたため、冷却処置、水分・塩分補給をし、保護者へのお迎えを要請しました。大事には至らなかった。	事故なし・対応に不備なし 0点	適正に実施されている。		0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入29,987,092円÷支出30,086,589円＝100%	105%未満～100% 4点	適正に経営されている。	4点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	1)「各地で災害が多発しているが、どんな備えをしたらいいか教えてほしい」という問合せ →「みんなの時間」防災関連の事業を企画中で、備えを意識した内容に変更し対応した。 2)「大学生、浪人生も遊戯室で卓球などをして遊びたい」との要望あり →児童センターは18歳未満の子どもが対象であることを児童館ガイドラインに沿って説明をし、子どもたちのあそびをサポートする役割(ボランティア活動)を促した。 3)「同好会活動のメンバーが減ってきた。活動を継続するために力を貸してほしい」 →①広報誌にて会員募集のご案内 ②同好会活動を見て体験していただく事業「ねもとオープンサークル」を実施し、入会のきっかけと活動の継続支援を行った。 4)「障がいをもっているが何かできる活動はないか」との問合せ →歩行器を使い交流センターへ来館し、図書コーナーをご利用されるパーキンソン病の方から相談を受け、合唱をやってみたいということで、「ひだまりコーラス」さんの仲間に入った。同好会の方々にパーキンソン病について知っていただき、発作が起きた時の対処法などをお伝えし、情報共有していただいた。また、ヘルプカードを取り寄せ、道中や館内での発作の際にこのマークをみれば対応できるよう準備をした。	期待以上 9点	要望に対し、迅速かつ適切かつ細やかに対応できている。 ・障がいを持っている方も参加しやすい団体との懸け橋となり、団体メンバーの方々に、もしもの時の対処法などについて職員が調べ、対処法を団体と情報共有し、安心して入会できる環境を整備した。また、障がいを持っている方のためにヘルプカードを取り寄せ、道中や館内でも対処ができるようきめ細やかな対応をしている。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	1)交流センター主催の自主事業に参加されている方が、隣接する月極駐車場を無断で使用してしまい、契約者の方へご迷惑をかけた。車を停めた方は、隣も交流センターの駐車場だと思い込んでおり、以前から使用していたとのこと。改めて使用できる駐車場をお伝えし、ご理解をいただいた。 ※同様の駐車場トラブル 他3件あり 2)大声で泣き止まない男の子(園児)に声掛けした職員に対して、「こういう仕事をしていてこの子に障がいがあることがわからないの」・・・との厳しい言葉をいただいた。話を聞くと軽度の発達障害があって、お母様も大変不安定な様子が見受けられた。初見では判断できない部分がありましたが、まずはお母様に寄り添って状況を確認する必要があった。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に対しても適切な対応ができている。	4点

		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	1)多世代の声が響く機能的なロビー空間 カジュアルな図書コーナー ・日替わりクイズラリー、読み聞かせコーナー、撮影スポットなど季節に応じたお楽しみコーナー ・人気本に特化した蔵書のラインナップ ・学習支援 ・スピーディな受付対応をするために、図書の管理をバーコード対応に切り替え 2)利用者ニーズをすばやく取り入れる ・人気のおもちゃ、幼児用車の導入 ・事業への反映 3)利用者にも職員にも優しいロボット型掃除機の導入 開館当初から衛生管理には力を入れてきましたが、利用の多さと経年劣化を見据えて、利用者に安心を届けられるようロボット型掃除機を導入し、きめ細かい汚れの取り除きができるようになりました。 4)理解と共感を大切にした相談機能 年間132件の相談を受け、職員のスキルアップとともに、きちんと情報をキャッチし、適切な機関へつなぐ役割を担いました。 5)不登校児への対応 学校には行けないけれど、ボランティア活動やあそびのために来館できる児童について、小学校と連携を図り、言動や様子などの共有化をし、対応法を検討していききました。	期待以上 14点	より良い事業実施のための提案がされている。 ・利用の多さと経年劣化を見据えて、利用者に安心を届けられるようロボット型掃除機を導入し、きめ細かい汚れの取り除きを行っている。 ・スピーディな受付対応をするために、図書の管理をバーコード対応に切り替え、利用者の利便性の向上と事務の効率化を図った。 ・不登校児への対応として、学校には行けないけれど、ボランティア活動やあそびのために来館できる児童について、小学校と連携を図り、言動や様子などの共有化をし、対応法を検討している。	14点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	なし	0点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計88点	極めて良好